

平成28年の入試「だけ」競争率が酷い事になります！

平成28年の1月にセンター試験を受ける福岡県の生徒たちが、一番気をつけないといけないポイントは、極端に競争率が上がる大学が出てくる事です。

例えば、佐賀大学の後期試験は、九州大学の後期試験より難しい事になると思っておいた方が良いでしょう。ここで、「なーんだ、佐賀大学なんて受けないよ」と思った人は、合格は難しいでしょう。佐賀大学以外の大学もまた、競争率が極端に上がる大学があります。安全なのは、前期も後期も九州大学などの難関大学を受験する生徒か、医学部受験者ぐらいいだと思えます。「どんなに、センターで酷い点数を取っても、志望校を下げるつもりはない」という受験生なら、問題はないでしょう。

しかし、「前期は第一志望を受けるけど、後期はどこか一般大学を受験する」という生徒なら問題があります。

佐賀大学ですが、後期試験の出願者数が、平成26年では2856人だったのが、平成27年では3403人となり、547人も激増しています。

平成27年は、新課程入試を避けて、浪人する生徒が激減したため、どこの大学も「志願者数が減少して当たり前」だったにもかかわらず、激増しているわけです。例えば、西南大学は受験者数が減少しましたので、これが普通なのです。ところが、福岡大学も受験者数が増加しています。

このように、受験者数が増加している大学と、減少している大学に分かれていますので、受験をする際には、キチンと受験の専門家に習っておいた方が良いでしょう。塾や予備校に通っている人なら、そこで既に習っている事でしょう。高校受験とは違って、大学受験は「なんとなく、偏差値を上げれば合格する」そんなものではありませんから。

少なくとも、あれだけ受験生の総数が減った平成27年で、500人以上も受験生が増えた佐賀大学です。平成28年は、1000人ぐらい受験生が増えると思っておいた方が良いでしょう。そうなれば、素人目から見ると「九州大学の後期試験を受けた方が、まだマシだったのではないか？」と思う事になるでしょう。平成28年の佐賀大学の後期試験は、「佐賀大学以外に行きたい大学はない！」という強い思いがある人だけにすべきでしょう。「前期に九州大学を受験して、後期は安全に佐賀大学へ・・・」という生徒が殺到してきますので、ほぼ九州大学受験生のレベルでの競争になって行きます。まともな指導者でしたら、「佐賀大学だけは、絶対に後期で受験するな」と言っているでしょう。

福岡県の大学受験生が、他県の競争相手に競り負けてしまう理由は、こういう情報がまわってこないという事です。

私は、熊本や宮崎、佐賀などで、高校生を中心に数百人教えて来ましたから、よくわかります。地域社会が生きている他県では、そういう情報を共有するコミュニティがあります。福岡県には、すでにそういう村社会は崩壊しています。その差が、大学受験で出ます。もちろん、あまり情報がない村社会に属しているそういう県の高校生は、やはり可否に関係のない科目の偏差値が上がっていました。自分が久留米自習室を立ち上げた理由としては、そういう福岡県では消滅してしまったコミュニティを作りたかったからです。

毎月数千円だけの自習だけの生徒でも、福岡県内では得られないような情報だけは手に入るようにしています。そこが一番大事なんです。